

令和6年第12回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	令和6年12月17日 (火)	
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター3階 エコ学習室	
開 閉 会 日 時	開 会	令和6年12月17日 (火) 午前9時30分
	閉 会	令和6年12月17日 (火) 午前10時56分
出 席 ・ 欠 席 委 員	出席委員	大野正人・池野博文・清胤祐子・河本千絵・小田純子
	欠席委員	
職務により会議に出席した者	教育次長	園田哲也
	課長	瀬川善博
	主幹	清水裕之
	主幹	亀岡圭太
	主幹	佐々木裕美
会議に付した事件及び採決結果		
報告協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 町内小中学校における諸問題の状況について 2 令和7年(令和6年度)安芸太田町二十歳を祝う会について 3 第2回業務改善アンケートの結果について 4 保育事案に関する報告について 	

【 議 事 録 】

日程第1 開会

(午前9時30分開会)

教育長)

皆さま、おはようございます。本日は全員出席でございます。本日の会議の議題はお手元のとおりでございます。報告・協議のうち公開になじまないものがございましたら、最後に回して審議したいと思いますがいかがでしょうか。

清胤委員)

報告・協議事項4保育事案に関する報告については、個人情報が含まれる案件でプライバシーに関することですので、審議は非公開が適切ではないかと思えます。

教育長)

他にご意見はございませんでしょうか。

(意見なし)

教育長)

それでは、ただいまの清胤委員の発議について採決いたします。

報告・協議事項4保育事案に関する報告については公開しないということに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

教育長)

全員賛成と認めます。従いまして、報告協議事項4を公開しないで審議することといたします。

日程第2 教育長報告

(以下の項目について報告)

1 12月の学校園所、教育長の状況

- ① 3市町教育長会 (2日)
- ② 園・所長研修会 (3日)
- ③ 教育支援委員会 (5日)
- ④ 12月定例議会 (6日～12日)
- ⑤ NHK 真打ち競演収録 (6日)
- ⑥ 加計認定こども園あさひ生活発表会 (14日)
- ⑦ 令和6年度人権フェスタ (14日)
- ⑧ 第16回安芸太田町親善卓球大会 (15日)
- ⑨ 黎明館クリスマスパーティー (15日)
- ⑩ 芸北支所校長ヒアリング (16日)

- ⑪ 教育委員会会議（17日）
- ⑫ 校長研修会（19日）
- ⑬ 黎明館寮生会（20日）
- ⑭ 図書館会議（23日）
- ⑮ 教頭・事務長研修会（25日）
- ⑯ 3市町教育長会（25日）
- ⑰ 政策会議（26日）
- ⑱ 町内学校一斉閉庁（27日）
- ⑲ 仕事納めの式（27日）
- ⑳ 年末警戒（28・29・30日）
- ㉑ 閉庁日（29日～1月3日）
- ㉒ 仕事初めの式（1月6日）

2 12月定例議会一般質問（教育委員会関係）

① 通告3番 小島 俊二議員

<質問>令和7年度予算編成について

- 戸河内プールについて、将来的に現状保存か小規模への移行か？
- 大野教育長の初の予算編成の方向性・重点施策を問う

<質問>教育委員会所管事務について

- ・町内小学校の学力調査結果(県内下位)の原因と対策について
 - ・加計小の学力低迷の原因と対策について
- ・小学校の教科担任制の制度内容について
 - ・本町における、教科担任制の活用について
- ・各中学校のクラブ活動の状況は？
 - ・国や県からの地域移行に関する何らかの動き
 - ・広島県の地域移行の状況、安芸太田町の状況
 - ・町の今後の取り組み内容について
 - ・町として指導者の雇用が必要では？
- ・安芸太田町の社会教育(文化・スポーツ等)の取り組み状況について
 - ・今後の方向性について

② 通告5番 末田 健治議員

<質問>次期長期総合計画について

- 加計高校の存続に向けた施策について

③ 通告7番 大江 昭典議員

<質問>小中学生の通学支援について

- 通学における危険事案(不審者、熊)の発生時における通学支援について
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について
- 今後の具体的な構想・施策について

<質問>カスタマーハラスメントについて

- 現状と課題、職員研修について
- 今後の具体的な施策、計画について

<質問>組織的防災力について

○現状と課題、今後の取組について

④ 通告8番 影井伊久美議員

<質問>子ども・子育て支援について

○子ども・子育て支援にまつわる次年度予算編成方針、主要事業について

○ファミリー・サポート制度について

○子どもの意見表明について

3 第1回 安芸太田町「第1期教育振興基本計画」検討委員会

○日時：令和6年11月28日（木）14：00～

○場所：川・森・文化・交流センター エコ学習室

<次第>

1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局職員紹介

5 委員長・副委員長の選任 6 委員長あいさつ 7 諮問

8 議事

(1) 第1期計画策定に係る基本的な考え方等について

① 計画策定に係るスケジュール

② 計画策定の趣旨及び計画の位置づけ・対象範囲・計画期間

③ 安芸太田町教育大綱について

(2) 統計からみる安芸太田町の教育に関する状況について

① 全国学力学習状況調査振り返り

② 教育に関する執行状況の評価

③ 安芸太田町の教育に関するアンケート調査途中経過について

(3) 「もみじプラン」の振り返りについて

(4) 第1次計画の骨子案について

① 本町の教育をめぐる現状・課題・展望

② 今後の教育政策に関する基本的な方針

③ 今後5年間の教育施策の目標と基本施策の骨子案

9 意見交換

10 次回予定 第2回 令和7年1月開催予定

11 閉会

教育長)

少し長くなりましたけれども私の方からは以上でございます。何かご質問ございましたら、あるいはご意見等ございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

清胤委員)

令和6年度人権フェスタで毎年司会として関わらせていただく中で私は、今年に限らず少ないのです来場者が。人権フェスタっていう名前が固い気もあるし、年末で皆さんお忙しいのもあるのですけど、受賞されたお子さん方の表彰式には本当に子ども達のニコニコとした笑顔が嬉しそうで、しっかり見守ってくださるのですけど、表彰式が終わったら帰られる。去年からオープニングに安芸太田中学校のダンスパフォーマンスで、私、インタビューさせ

ていただいたら、授業の合間とか放課後に一緒に一生懸命踊ったり、確認したりして、どうやったら皆さんに喜んでいただけるようずいぶん頑張って練習して、本当はオーシャンズ 12 とかいう名前で 12 人だったのが、その中の一人が寝違い、それでオーシャンズ 11 になって笑いながらいろいろ話したりして、すごく良い感じなのに、そのオープニングが終わったら会場が閑散とするような感じで、特に今年は元 JAL の方で、今アテンダントの養成されている方で、障害児教育やスポーツにも関わり、笑顔、返事、姿勢、皆さん腰を立てるという事がものすごく大事だそうです。一握り椅子の所におき、腰を立てておくと採用責任者に良いイメージがあるらしく、姿勢が良いという事で採用していただけた話もあって、感心しました。そういうのを心掛けるとか、子ども達に聞いてもらいたいし、先生方にも聞いていただいて、日常の学校生活に生かしていただけたら素晴らしいと思いました。だから人権フェスタに良い講師が来られるので、もっと先生方やお子さん方や来場した表彰の子どもやダンスパフォーマンスの子ども達にどうやったら残ってもらえるのか強制ではないですが、自主的に残っていただくよう工夫する必要があるのではないかと思います。

池野委員)

人権フェスタに関連してですが、講師のお話の中で、障害児の子どもさんが 3 歳以上にならないと表情が豊かにならないのはお母さんが、その事実を突き止めるのに障がいのある方は年数がかかるのが判ってそこから笑顔が増えてくるのが心に残りました。他のイベントと全く違う時間帯で 13 時スタート。それが町にとって人権展にそんなに重きを置いていないのではないかと誤解や感情を持たれるのではないかとという危惧と 15 分の間があります。講演が始まる前に、直ぐそのまま入れればいくらか帰りが遅くなったのではないかと思います。高校の関係で言いますと、加計高校の子どもさんに地域との結びつきを深めて欲しいとありましたが、加計高校の校長先生も地域との結びつきを深めたいという事で、スマホ教室など加計高校生も参画できないのかというような話も出ました。

清胤委員)

池野さんのご意見をいただいて、奥様が人権擁護委員の副会長をされていて、良いご挨拶を最後にいただき、良い講演だと良いご挨拶にもなるし、障がいのあるお子さんは一律表情が乏しいという事があり、満面の笑顔のお子さんがあんまりいらっしゃらず、それはそのお子さんがではなく、向き合っている大人や友達も含めて社会がそのお子さんに対して笑顔でないのだなと教えていただきました。うちも 2 歳と 1 歳の孫がいますが、上の子の時はアー、アーって笑顔でしていただらすごく早くに笑うようになったのですが、次男が生まれると忙しいばかりでほったらかしていたら、次男は笑うのが遅かったです。それをふと思い出して、その子の問題というよりは対面するこちらのクラスのムードが暗いというのがあったら、担任の先生の笑顔とか、社会がどう子ども達に接しているかなど笑顔一つでその子の人生が変わると思いました。そういうところを先生方に理解し、授業していただいたら違ってくるのではないかと思います。

教育長)

ありがとうございます。報告協議に入ります。

日程第3 報告・協議

教育長)

報告・協議 1 町内小中学校における諸問題の状況についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

亀岡主幹)

(町内小中学校における諸問題の状況について説明)

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

河本委員)

人を傷つることはいけないけど、暴力行為、不登校と質が違っても繋がっているというか、感情を出してもいい時があっても良いかなと思います。暴力行為というと凄く構えますが、手が出してしまったことが凄く痛かった人がいるから悪いけど、最初からすごく悪いことをうちの子がしたと思いながら話を伺うのではなくて、そんな時もありますよねっていうところからのこの子は、今回こういう気持ちだったっていうことを教えてもらえたら安心して話を伺えるし、不登校など自分が何者かわからなくなるとか、小さい時の積み重ねが想像力に繋がって少し緩和されるのではないかと思います。

亀岡主幹)

僕もストレスが溜まって過剰になったら出さないとしんどくなりますので、その出す方法を子どもなりに手が出るとかではなくて、別の発散方法として何がいいかねというのを先生と子どもが話ししながら、保護者にも子どもさんがこういう事なのでどうしたらいいですかねというのを一緒にやっていけたら良いのかなと思っています。

教育長)

感情が高ぶったりした時にそれを治めるということで、自分の気持ちをコントロールするために学校として取り組みをされていると思うのですが、感情が高ぶった時のクールダウンする方法をどのようにされているか教えていただけますか。

亀岡主幹)

別室に行くなど本人が一番安心できる場所に行き、そこでいったん落ち着いてから先生と話をし、なかなか言葉に出来ない子どももいますので、絵を使い、吹き出しとかにここにどんな言葉が入るかねというようなことをやり、その時の気持ちを子どもがしっかり振り返れるようにして、その気持ちはわかるよと同意し、次の行動を考えるような対応を学校で行っているところです。

小田委員)

暴力行為 18 件は、どういう形でカウントされているのでしょうか。

亀岡主幹)

子どもからの訴えによるものと先生が実際にその場を見たものです。

小田委員)

遊び、じゃれ合いからっていうことは小学校低学年が多くて、中学校でも暴力行為は件数の中に入っているのでしょうか。

亀岡主幹)

入っています。中学校もコミュニケーションが上手く取れないことであります。

小田委員)

不登校で、今、筒賀児童センターに通われている方は何人おられますか。

亀岡主幹)

今はおられません。学校に来て、教室に入られない子どもは保健室や別の部屋。安芸太田中学校ではSSRという部屋で学習しています。

教育長)

昨今よく言われるのが不登校、長欠生徒の理由です。学校としてはその理由を保護者に聞き取りをすると違っていることがあり、そこで壁があるようなことが報道されています。大概先程しっかりと子ども達の話聞いていく、そして保護者の話をしていくことが大切なのではないかと思えます。本町では上手くいっていますが、肝に銘じてやっていくように指導していきたいと思えます。

教育長)

報告・協議2 令和7年（令和6年度）安芸太田町二十歳を祝う会についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

瀬川課長)

（令和7年（令和6年度）安芸太田町二十歳を祝う会について説明）

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

（意見なし）

教育長)

報告・協議3 第2回業務改善アンケートの結果についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

清水主幹)

（第2回業務改善アンケートの結果について説明）

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

河本委員)

教材研究する時間空きコマが出来て持てると思うのですが、人数の事とかもあるのでしょうか、確保するための何か国の支援があったらよいとは思いますが。

清水主幹)

議会でも一つの担任の先生が全部の教科をやるのではなくて、専門的分野の事を集中しているような学年の子どもに教えることによって学力の向上に結び付くのではないかというところから教科担任制の話が出てきましたが、実際、町内の状況をいくつか伝えますと、加計小学校の算数の授業では、加計中学校の先生が週に1、2回加計小学校に行き、小学校の先生と一緒に算数の授業をしている状況があり、安芸太田中学校区では、音楽、図工の小学校の授業については、中学校の教員がそれぞれの小学校で指導している状況があるので、教科担任制を全くしていないわけではないのですが、県の中でのいろいろな加配も見ながらこちらからの希望を出して、教職員数の確保に努めていますが、これにも限界があります。

河本委員)

教職員数は、全国的に不足しているのですか。

清水主幹)

教職員数の不足は言われています。力のある先生方が来たら良いとは思いますが、町内で勤務している先生方の力量を高めることもやらなければいけないことだと考えております。

清胤委員)

肯定的な回答率が上がりすごく有難いと思ったのと同時に、去年と比べて、やりがいを感じているとか感じていないパーセンテージの変化はありますか。

清水主幹)

向き合う時間にしてもやりがいのことについてもほぼ高い推移をここ数年は辿っている状況となっています。

清胤委員)

やりがいを感じていただけてすごく有難いです。だからこそアンケートにも答える気になるのではないかと思います。感じていないと感じる理由が出ていて、こういう事も言いたい気持ちでアンケートに答えている先生もいるかもしれないので、校長先生や教頭先生が定期的に先生方と面談するとか、保健室の先生に児童生徒だけではなく教職員の先生方と懇談していただくように保健室がほっこりした時間をもてたらちょっと違うと思いますが、どうなのでしょう。

清水主幹)

アンケートにつきましては、無記名でのアンケートにしていますので実際誰が答えているのかまでは解りませんが、アンケート項目の中に所属している学校名を入れることにしていますので、各校の管理職の方は、回答の一覧は学校別に紹介をしていますので、これが教職員の面談や職員室内での先生方の様子を観察する際に非常に役立つものにはなると思っています。養護教諭につきましては、児童生徒の健康を見るというのが一番なのです。

が、所属している職員の中で一番若い年齢が養護教諭という学校もあるので、職員の構成によってやり方が変わってくると思います。

河本委員)

児童生徒と向き合う時間が確保できていないと感じている理由の中に、授業以外の時間に、特に学力がしんどい生徒と学びたいとか、やりがいをもてていないと感じる理由の家庭学習の習慣化が、生徒の学力を伸ばすことができていないとかで、自覚しているのはしんどいだろうなとは思いますが、昔で言うと放課後、勉強するとか、校長先生と勉強しようとか、特別な時間を少し持つことがあったと思うのですが、生徒のためにならない負担の大きい業務が多いことで、足を引っ張られるのも解りますが、学力が付いていない状況というのも本人と時間を取る工夫とか必要とは思いますが。

清水主幹)

先程の回答した件は、かなり志が高い教員と思います。もっと時間をかけて教えたいけど子ども達の下校の時刻とか、他の活動もある中で時間を確保できていないことに対する良い意味で自戒の念といいますか、その思いを持っていることに有難いと思っています。時間をどのように確保するかはそれぞれの学校で考えて、放課後の補習の時間を取るとか、一斉に自主学習する時間を設けるとか、児童生徒の状況に応じて学校で対策を練っているといます。ただこれは永遠の課題でもありますので、学校としては、もっと子ども達に学力をつけてあげたい思いは一律に持っているので、学校の状況に合わせて工夫して、これからも子ども達と向き合ってくれるのではないかと考えております。

教育長)

一人一人としっかり関わるのが、誰も大事なのですが、心の面や学力の面についても同じだと思います。他にありませんでしょうか。

(意見なし)

教育長)

以上で本件の審議を終わります。続いて先程公開しないと決定した報告協議について審議を行いますので、傍聴席の方はご退席をお願いします。

報告・協議4 (非公開により審議)

報告・協議4 保育事案に関する報告について

教育長)

本日本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。

次回の教育委員会議の日程調整をお願いします。

(次回の教育委員会議の日程調整)

1月20日月曜日ということでお願いします。

以上で令和6年第12回教育委員会議を終わります。ありがとうございました。

(午前10時56分 閉会)